

福岡県玄界灘海岸で採集されたハネカクシ科甲虫

川原 恵子^{1), 2)}・城戸 克弥²⁾・丸山 宗利²⁾

¹⁾ 福岡県立須恵高等学校：〒811-2221 糟屋郡須恵町旅石72-3

²⁾ 九州大学総合研究博物館：〒815-8581 福岡市東区箱崎6-10-1

要旨：ハネカクシは、福岡県の海岸からの記録は非常に少なく、ほとんど未解明の状態であり、特に潮上帯の専門的な調査は全く行われていない状況である。今回、福岡県玄界灘海岸の潮上帯に生息するハネカクシについての野外調査を2017年4月から9月まで行った。その結果、福岡県新記録の4種を含む13種が確認された。ハネカクシは適度に湿気がある海藻類の下で個体数が多かった。

キーワード：甲虫、ハネカクシ科、潮上帯、玄界灘海岸

I. はじめに

福岡県の甲虫相については、高倉康男(1989)をはじめ多くの研究者によって、かなりの部分が明らかにされてきた。一方、海岸部については、海岸植物の繁茂する砂丘部の調査が主で、潮上帯付近の甲虫相については、ほとんど手つかずのままである。とくにハネカクシ科甲虫については、大きな科でありながら、海岸からの記録は非常に少なく、ほとんど未解明の状態であり、特に潮上帯の専門的な調査は全く行われていない状況であった。

海岸を含む水辺の生物は、埋め立てや護岸工事等による砂浜の消失や潮流変化など環境変化の影響を受けやすく、それ故、ニセセマルケシマグソコガネやアカオオハナコメツキなど絶滅危惧種に指定されているものも多い。福岡県宗像市、福津市及び糸島市は、自然豊かな都市を謳う三市であり、今後の調査で多様な種の生息の確認が期待される。しかし、海岸部の観光資源としての利用や宅地開発はこれからさらに進んでいくものと容易に想像できる。今の状態が持続可能な社会の中で保持されていくことを願い、筆者らは、福岡県宗像市、福津市及び糸島市海岸のハネカクシ類の調査を行ったので、ここに報告する。また、同時に採集されたその他の甲虫についても報告する。

II. 調査地

調査地は、福岡県宗像市、福津市、糸島市の玄界灘(図1A)に面した海岸である。各調査地の概要について述べる。

(1) 宗像市付近(図1B)

① 宗像市神湊海岸(図2A)

幅30m、海岸線270m程度。春頃、ワカメなどの海藻類が多く打上げられている。

(2) 福津市付近(図1C)

① 福津市恋の浦海岸(図2B)

美しい自然海岸で、河川の流入はない。ウミガメの産卵場としても知られている。砂丘もよく発達している。幅50m、海岸線900m程度。

(3) 糸島市(図1D)

① 糸島市二丈桜井 二見ヶ浦海岸(図2C)

海水浴のオフシーズンであっても、多くの観光客で賑わう海岸。海藻が打上がっていないことが多い。また、休日前には、清掃されることもあった。砂浜は人の出入りが多いが、今回調査したのは砂浜西側の幅30m、海岸線120m程度の礫浜。ハマヒルガオやツルナ、ハマゴウなどの海浜植物がみられる。

② 糸島市二丈桜井 大口海岸(図2D)

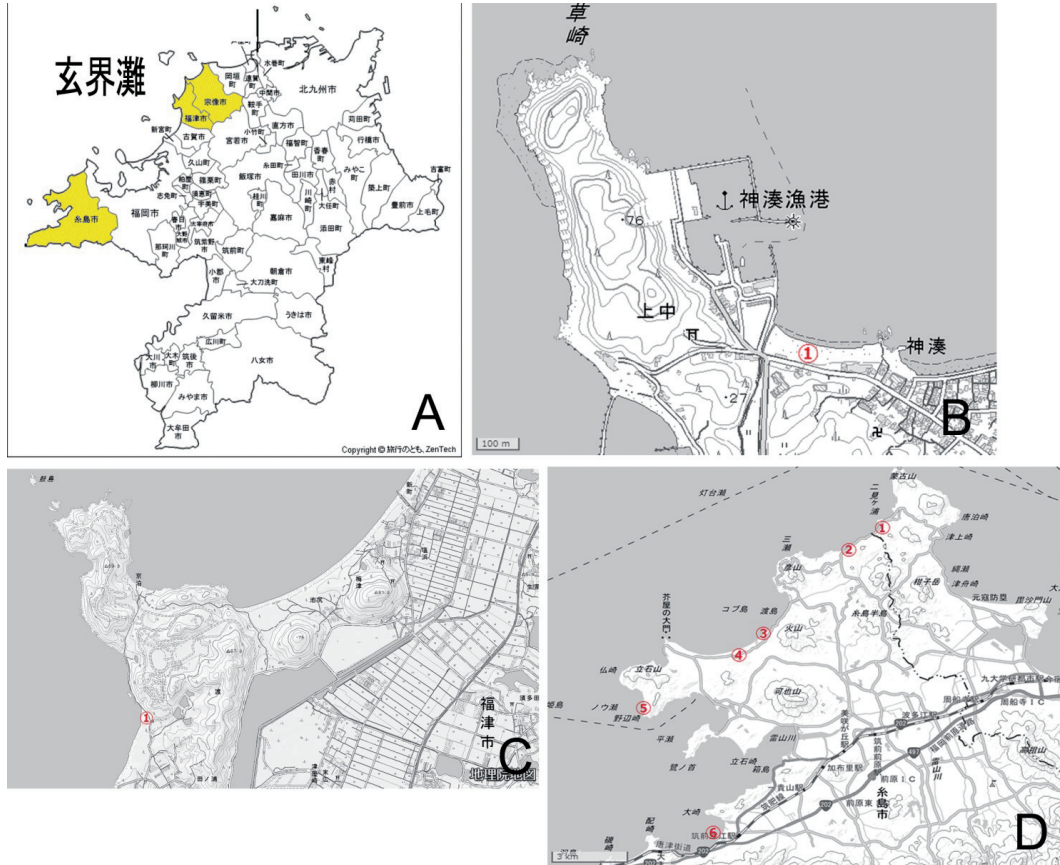


図1. A.: 玄界灘の位置 B: 宗像市神湊付近 C: 福津市恋の浦海岸 D: 糸島市付近
 出典 A: 旅行のとも ZenTech
 B~D: 国土地理院 (地理院タイル) <http://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>

近くに飲食店があり、人の出入りが多い。幅20m、海岸線600m程度で全体的に石英に不純物が付着した黄色の砂粒が多い砂浜。

- ③ 糸島市志摩野北 野北海岸 (海水浴場の東側、野北漁港付近) (図2E)

海浜植生が良く発達している。人の出入りは少ない。幅30m、海岸線700m程度の灰白色の砂浜。

- ④ 糸島市志摩芥屋 幣の浜 (図2F)

クロマツ林があり、社団法人・日本の松の緑を守る会が選定した白砂青松100選のひとつ (林野庁HP)。幅30m程度、海岸線6kmの砂浜が続く。砂粒は極めて細かく、さらさらとしている。コウボウムギ・ハマオモトなどの海浜植物がある。サーフィンスポットで、常に人の往来がある。クロマツ林は、定期的にマツクイムシ対策の防除剤が散布されている。

- ⑤ 糸島市志摩芥屋 福の浦海岸 (図2G)

人の出入りは少なく、静かな海岸。幅30m、海岸

線800m程度。砂浜の砂粒は、今回の調査地の中で最も細かい砂浜。

- ⑥ 糸島市二丈深江 深江海岸 (図2H)

海浜植物は少ない海岸。幅30m、海岸線700m程度で雲母や磁鉄鉱の粒が多い砂浜。

Ⅲ. 調査方法

調査は、各調査地の潮上帯付近の砂地で行った。潮上帯にあるワカメ等の海藻のうち特に湿気のあるものを選び、シャベルで砂ごとすくい上げた (図2I)。その後、すくい上げた海藻を砂ごとステンレス製網かごに入れ (図2J)、下のバットに落下した甲虫を採集した。また、周辺環境の調査のため、潮上帯より上部の砂地で、植生の根際周辺の砂をシャベルですくい、ステンレス製網かごに入れ、下のバットに落下した甲虫を採集した。採集は目視の上、吸虫管などを使った。個体密度の参考にするた



図2. 調査地の景観

A: 神湊海岸 B: 恋の浦海岸 C: 二見ヶ浦海岸 D: 大口海岸 E: 野北海岸 F: 幣の浜海岸

G: 福の浦海岸 H: 深江海岸 I: 海藻をシャベルで砂ごとすくいあげる様子

J: すくい上げた海藻と砂をステンレス製網かごに入れる様子

K: 使用した吸虫管、ステンレス製網かご、バット

L: 福の浦海岸で見られた、砂に半ば埋まった状態の海藻

め、各地点の調査時間を記録した（表1）。

- ・ステンレス製網かご（外寸（mm）：サイズ298×235×50，底255×190，メッシュ6.5）
 - ・バット（外寸（mm）：324×234×52，白）（図2K）
- アバタウミベハネカクシ属に関しては、京都市の伊藤

建夫氏に同定依頼し、その他のハネカクシについては川原が同定を行った。*Emplenota* 亜属の種同定にあたっては、解剖と封入作業により、雄交尾器と受精嚢を確認した。標本は、九州大学総合研究博物館に保管する。

表1 調査地、調査日および各調査地で得られた種、個体数

種名	調査地								個体数
	二見ヶ浦	大口	幣の浜	福の浦	深江	神湊	恋の浦		
1. フトツヤケシヒゲブトハネカクシ		4	6	61	10	20	25	126	
2. ツヤケシヒゲブトハネカクシ	7		7	2	4			20	
3. ニセツヤケシヒゲブトハネカクシ	16	1	7	3	18			45	
4. ホソセスジヒゲブトハネカクシ	1	7	4	3	16	9		40	
5. ニセセスジヒゲブトハネカクシ		3				1		4	
6. ウシオヒメハネカクシ	2	22	14	1	1	2		42	
7. ヒメアバタウミベハネカクシ	1		4	1		1		7	
8. ホソアバタウミベハネカクシ	1			1				2	
9. アカバアバタウミベハネカクシ	2	23	108	72	12	113	16	346	
10. オオアバタウミベハネカクシ		1		41	19	12	4	77	
11. ミゾナシチビコガシラハネカクシ		1	1					2	
12. ツヤウミベコガシラハネカクシ			5	3		14	2	24	
13. ツヤケシアカバウミベハネカクシ			2	32		4	6	44	
種数	7	8	10	11	7	9	5		
総個体数	30	62	158	220	80	176	53		
調査日 2017年 月/日	5/3.11. 16.22.30, 6/15	5/16. 26.30, 6/15	5/3. 11.16. 26.30, 6/15	5/22. 26.30, 6/15	5/30, 6/15	4/21, 6/9	4/21, 6/9		
調査に要したのべ時間数(分)	190	100	250	200	60	100	70		
調査60分あたりの個体数	9.5	37.2	38.0	66.0	80.0	105.6	45.4		

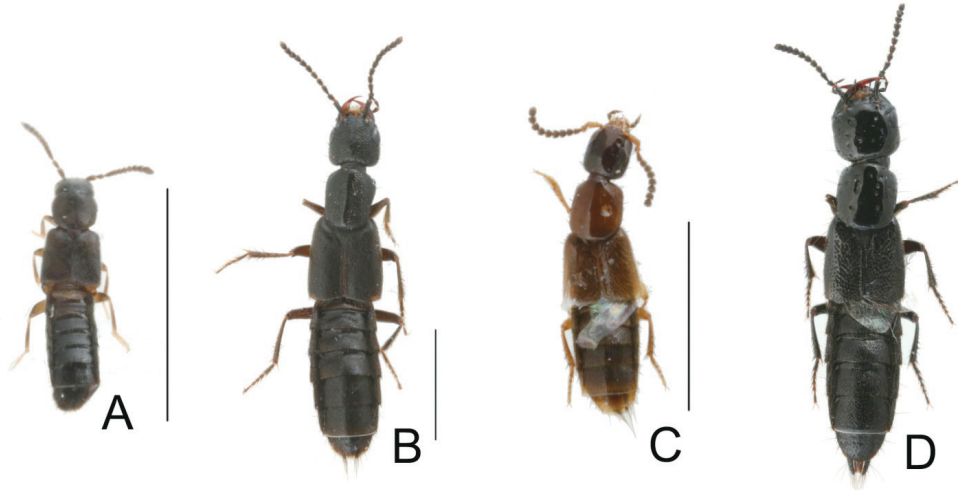


図3. 福岡県新記録のハネカクシ。A, ウシオヒメハネカクシ *Adota magnipennis* (Bernhauer, 1943); B, ホソアバタウミベハネカクシ *Cafius (Pseudoremus) histrio* Sharp, 1874; C, ミゾナシチビコガシラハネカクシ *Gabronthus maritimus* (Motschulsky, 1858); D, ツヤウミベコガシラハネカクシ *Philonthus (Philonthus) nudus* Sharp, 1874 スケールはすべて、2mm。

IV. 調査で得られたハネカクシ

(表1. 調査地、調査日及び各調査地で得られた種、個体数)

ヒゲブトハネカクシ亜科 Subfamily Aleocharinae Fleming, 1821

1. フトツヤケシヒゲブトハネカクシ *Aleochara (Coprochara) squalithorax* Sharp, 1888

糸島市志摩桜井大口海岸：4 exs., 30.V.2017.

糸島市志摩芥屋幣の浜：1 ex., 3.V.2017; 5 exs., 26.V.2017.

糸島市志摩芥屋福の浦海岸：1 ex., 22.V.2017; 10 exs., 30.V.2017; 50 exs., 15.VI.2017.

糸島市二丈深江深江海岸：10 exs., 30.V.2017.

宗像市神湊：20 exs., 21.IV.2017.

宗像市恋の浦海岸：25 exs., 21.IV.2017.

(既産地) 福津市渡・福岡市東区三苦・福岡市東区勝馬 (Yamamoto & Maruyama, 2013)

2. ツヤケシヒゲブトハネカクシ *Aleochara (Emplenota) fucicola* Sharp, 1874

糸島市志摩桜井二見ヶ浦海岸：7 exs. (4♂3♀), 3.V.2017.

糸島市志摩芥屋幣の浜：7 exs. (5♂2♀), 26.V.2017.

糸島市志摩芥屋福の浦海岸：1 ex. (♀), 22.V.2017; 1 ex. (♂), 30.V.2017.

糸島市二丈深江深江海岸：4 exs. (4♀), 30.V.2017.

(既産地) 行橋市杳尾・稲童, 岡垣町新松原海岸, 津屋崎町恋の浦海岸 (高倉, 1974)

次種が記載されたことにより、過去に本種として記録されたものには2種が混同していることになる。そのため、上記既産地の記録は見直す必要がある。真の *A. fucicola* としては、福岡県新記録。

3. ニセツヤケシヒゲブトハネカクシ *Aleochara (Emplenota) segregata* Yamamoto & Maruyama, 2012

糸島市志摩桜井二見ヶ浦海岸：13 exs. (8♂5♀), 3.V.2017; 3 exs. (3♂), 16.V.2017.

糸島市志摩桜井大口海岸：1 ex. (♂), 30.V.2017.

糸島市志摩芥屋幣の浜：3 exs. (1♂2♀), 26.V.2017; 2 exs. (1♂1♀), 11.V.2017; 1 ex. (♀), 3.V.2017;
1 ex. (♀), 16.V.2017.

糸島市志摩芥屋福の浦海岸：2 exs. (2♂), 30.V.2017; 1 ex. (♀), 15.VI.2017.

糸島市二丈深江深江海岸：18 exs. (8♂10♀), 30.V.2017.

(既産地) 福岡市西区生の松原1丁目・福津市渡・福岡市東区三苦・福岡市東区志賀島・福岡市東区勝馬・下馬ヶ浜・
福岡市西区小戸2丁目小戸公園・福岡市西区生の松原1丁目・福岡市西区能古島
(Yamamoto & Maruyama, 2012)

4. ホソセスジヒゲブトハネカクシ *Aleochara (Triochara) trisulcata* Weise, 1877

糸島市志摩桜井二見ヶ浦海岸：1 ex., 3.V.2017.

糸島市志摩桜井大口海岸：7 exs., 30.V.2017.

糸島市志摩芥屋幣の浜：3 exs., 3.V.2017; 1 ex., 16.V.2017.

糸島市志摩芥屋福の浦海岸：3 exs., 15.VI.2017.

糸島市二丈深江深江海岸：16 exs., 30.V.2017.

宗像市神湊：9 exs., 21.IV.2017.

(既産地) 福津市渡・福岡市東区三苦・福岡市東区勝馬下馬ヶ浜・福岡市西区能古島 (Yamamoto & Maruyama, 2012)

5. ニセセスジヒゲブトハネカクシ *Aleochara (Triochara) zerchei* (Assing, 1995)

糸島市志摩桜井大口海岸：3 exs., 30.V.2017.

宗像市神湊：1 ex., 21.IV.2017.

(既産地) 福岡市西区能古島 (Yamamoto & Maruyama, 2012)

6. ウシオヒメハネカクシ *Adota magnipennis* (Bernhauer, 1943)

糸島市志摩桜井二見ヶ浦海岸：2 exs., 3.V.2017.

糸島市志摩桜井大口海岸：22 exs., 30.V.2017.

糸島市志摩芥屋幣の浜：1 ex., 3.V.2017; 13 exs., 16.V.2017.

糸島市志摩芥屋福の浦海岸：1 ex., 22.V.2017.

糸島市二丈深江深江海岸：1 ex., 30.V.2017.

宗像市神湊：2 exs., 21.IV.2017.

福岡県新記録 (図3A)

ハネカクシ亜科 Subfamily Staphylininae Latreille, 1802

7. ヒメアバタウミベハネカクシ *Cafius (Pseudoremus) algarum* (Sharp, 1874)

糸島市志摩桜井二見ヶ浦海岸：1 exs., 16.V.2017.

糸島市志摩芥屋幣の浜：2 exs., 3.V.2017; 1 ex., 26.V.2017; 1 ex., 15.VI.2017.

糸島市志摩芥屋福の浦海岸：1 ex., 15.VI.2017.

宗像市神湊：1 ex., 9.VI.2017.

(既産地) 福岡市西区今宿青木 (山本, 2009)

8. ホソアバタウミベハネカクシ *Cafius (Pseudoremus) histrio* (Sharp, 1874)

糸島市志摩桜井二見ヶ浦海岸：1 ex., 3.V.2017.

糸島市志摩芥屋福の浦海岸：1 ex., 15.VI.2017.

福岡県新記録 (図3B)

9. アカアバタウミベハネカクシ *Cafius (Pseudoremus) rufescens* (Sharp, 1889)

糸島市志摩桜井二見ヶ浦海岸：2 exs., 3.V.2017.

糸島市志摩桜井大口海岸：23 exs., 30.V.2017.

糸島市志摩芥屋幣の浜：74 exs., 3.V.2017; 1 ex., 11.V.2017; 11 exs., 16.V.2017; 14 exs., 26.V.2017; 8 exs., 15.VI.2017.

糸島市志摩芥屋福の浦海岸：6 exs., 22.V.2017; 9 exs., 30.V.2017; 57 exs., 15.VI.2017.

糸島市二丈深江深江海岸：12 exs., 30.V.2017.

宗像市神湊：99 exs., 21.IV.2017; 14 exs., 9.VI.2017.

宗像市恋の浦海岸：16 exs., 21.IV.2017.

(既産地) 福岡市西区今宿青木・能古島 (山本, 2009)

今回の調査で最も広く見られ、また、個体数も極めて多い。

10. オオアバタウミベハネカクシ *Cafius (Pseudoremus) vestitus* (Sharp, 1874)

糸島市志摩桜井大口海岸：1 ex., 30.V.2017.

糸島市志摩芥屋福の浦海岸：32 exs., 22.V.2017; 1 ex., 30.V.2017; 8 exs., 15.VI.2017.

糸島市二丈深江深江海岸：19 exs., 30.V.2017.

宗像市神湊：12 exs., 21.IV.2017.

宗像市恋の浦海岸：4 exs., 21.IV.2017.

(既産地) 行橋市沓尾・稲童, 津屋崎町恋の浦海岸 (高倉, 1974), 能古島 (藤本, 1999), 福岡市西区生の松原 (山本, 2009)

11. ミゾナシチビコガシラハネカクシ *Gabronthus maritimus* (Motschulsky, 1858)

糸島市志摩桜井大口海岸：1 ex., 16.V.2017.

糸島市志摩芥屋幣の浜：1 ex., 30.V.2017.

福岡県新記録 (図3C)

純粋な海岸性種ではなく、ときに内陸部からも得られるが、種名が示す通り、海岸に多い種である。

12. ツヤウミベコガシラハネカクシ *Philonthus (Philonthus) nudus* Sharp, 1874

糸島市志摩芥屋幣の浜：1 ex., 11.V.2017; 1 ex., 16.V.2017; 3 exs., 26.V.2017.

糸島市志摩芥屋福の浦海岸：1 ex., 30.V.2017; 2 exs., 15.VI.2017.

宗像市神湊：1 ex., 21.IV.2017; 13 exs., 9.VI.2017.

宗像市恋の浦海岸：2 exs., 21.IV.2017.

福岡県新記録 (図3D)

13. ツヤケシアカバウミベハネカクシ *Phucobius simulator* Sharp, 1874

糸島市志摩芥屋幣の浜：2 exs., 15.VI.2017.

糸島市志摩芥屋福の浦海岸：6 exs., 22.V.2017; 15 exs., 30.V.2017; 11 exs., 15.VI.2017.

宗像市神湊：3 exs., 21.IV.2017; 1 ex., 9.VI.2017.

宗像市恋の浦海岸：6 exs., 21.IV.2017.

(既産地) 行橋市沓尾・稲童 (高倉, 1974), 津屋崎町恋の浦海岸 (高倉, 1989)

福岡市西区今宿青木・能古島 (山本, 2009)

V. 結果と考察

今回の調査地の漂着物には、ワカメやホンダワラ等の海藻類、流木、枯れ枝などがあった。ハネカクシの生息は、海藻類 (特にワカメ) の下から多く確認できた。流木や枯れ枝の下からは、ほとんど確認できなかった。また、波際にあるワカメ等の海藻類より、潮上帯にある海藻類のほうが、ハネカクシがよく採集できた。しかし、潮上帯でも、海藻類や海藻類の下の砂から水がしたたるような状態や逆に乾燥しすぎた海藻類やその下では、ハネカクシの生息をほとんど確認できなかった。海藻類の表面は少し乾燥しているが、内部に水分を含んでいるような適度に湿っている海藻類の下から、多くの種数と個体数が確認された。福の浦海岸では、砂に半ば埋もれたような状態の海藻 (図2L) が多く見られた。このような海藻を砂から引き抜いた後にできた穴から、多数のハネカクシが出てくる様子が観察された。

今回、調査期間としては、4月～9月まで行った。7、

8月は海水浴シーズンであり、海藻類が清掃されていたため、ハネカクシの生息がほとんど確認できなかった。また、9月は海藻類の漂着が少なく、生息がほとんど確認できなかった。

調査に要したのべ時間を記録し、糸島市志摩桜井二見ヶ浦海岸は、時間に対して採集した個体数が少ないことがわかった (表1)。この理由として考えられる1点目は、海藻類などの漂着物が他の調査地点より少ないことである。5月3日に調査に行った際は、海藻類が多く打ち上がっており、多くの個体数を確認することができた。しかし、波の流れや地形的なことも影響するのか、5月後半からは、砂浜に打ち上がった海藻類を見るのが非常に少なくなった。加えて、この海岸は観光地として特に人の出入りが多い場所で、清掃活動により漂着物をすべて除去されることもあった。2点目は、二見ヶ浦海岸のみ礫浜で、乾燥しやすいことが考えられる。6月11日に降雨があり (合計降水量4 mm程度)、その後曇天が続き、6月15日に晴天が見られた。この日の調査で、礫浜の二見ヶ浦海岸では、ハネカクシの生息を確認できていない

が、砂浜である福の浦海岸では、134個体確認できている。

今回の調査地の中では二見ヶ浦海岸のみ礫浜であるが、河上・林(2007)らの調査で礫浜に生息すると報告されたホソアバタウミベハネカクシは1個体のみであった。一方で、礫浜ではない福の浦海岸からも1個体確認された。二見ヶ浦海岸以外の調査地の砂の粒径を調査したが、調査地間での砂粒の大きさにはほとんど差がなかった。ただし、フトツヤケシヒゲブトハネカクシ、オオアバタウ

ミベハネカクシ、ツヤウミベコガシラハネカクシ、ツヤケシアカバウミベハネカクシは礫浜では採集されておらず、この4種は礫浜よりも砂浜を好む可能性が考えられ、砂浜と礫浜では種構成に違いが見られるといえる。

また、幣の浜海岸で、マツクイムシの防除剤散布が定期的に行われていたが、散布後は、ゴミムシダマシ類やダンゴムシ類の死骸が砂丘上に多く見られたので、防除剤の影響が考えられる。

VI. その他の甲虫

今回の調査は主として潮上帯付近のハネカクシ相の解明を目的としたが、同時に周辺の高浜性甲虫類の採集も行った。資料として、併せて報告する。

1. ヒョウタンゴミムシ *Scarites aterrimus* Morawitz, 1863

糸島市志摩芥屋幣の浜：3 exs., 16.V.2017.

糸島市志摩芥屋福の浦海岸：2 exs., 15.VI.2017.

宗像市神湊：1 ex., 9.VI.2017.

(既産地) 行橋市沓尾・蓑島, 宗像市鐘崎(高倉, 1989), 北九州市若松区岩屋海岸(城戸, 2004), 福岡市東区三苦, 西区今津(山本, 2009), 能古島(藤本, 1995), 藍島(城戸, 1999), 地島(城戸, 1997), 糸島市幣の浜, 志賀島(城戸, 2004), 姫島(城戸, 1992)

海岸砂丘の植物の下や漂着物の下などに普通に見られる。

2. コケシガムシ *Cercyon aptus* Sharp, 1873

糸島市志摩桜井二見ヶ浦海岸：8 exs., 3.V.2017.

糸島市志摩桜井大口海岸：8 exs., 30.V.2017.

糸島市志摩芥屋幣の浜：13 exs., 3.V.2017; 6 exs., 11.V.2017; 25 exs., 16.V.2017; 2 exs., 26.V.2017.

糸島市志摩芥屋福の浦海岸：2 exs., 22.V.2017; 7 exs., 30.V.2017.

糸島市二丈深江深江海岸：4 exs., 30.V.2017.

宗像市神湊：133 exs., 21.IV.2017.

宗像市恋の浦海岸：39 exs., 21.IV.2017.

(既産地) 岡垣町新松原海岸(高倉, 1974), 宗像市鐘ノ岬, 神湊(高倉, 1989), 福岡市西区今宿青木(山本, 2009)

この調査で最も多く得られたガムシで、次種と共に打ち上げられた海藻の中に多い。

3. フチトリケシガムシ *Cercyon dux* Sharp, 1873

糸島市志摩桜井二見ヶ浦海岸：9 exs., 3.V.2017.

糸島市志摩芥屋幣の浜：1 ex., 26.V.2017.

糸島市志摩芥屋福の浦海岸：1 ex., 30.V.2017.

糸島市二丈深江深江海岸：1 ex., 30.V.2017.

宗像市神湊：1 ex., 21.IV.2017.

宗像市恋の浦海岸：1 ex., 21.IV.2017.

(既産地) 行橋市稲童 (高倉, 1974), 宗像市鐘ノ岬, 神湊 (高倉, 1989), 福岡市西区今宿青木 (山本, 2009)

4. ハマベエンマムシ *Hypocaccus varians varians* (Schmidt, 1890)

糸島市志摩桜井大口海岸: 4 exs., 30.V.2017.

糸島市志摩芥屋福の浦海岸: 4 exs., 30.V.2017.

糸島市二丈深江深江海岸: 2 exs., 30.V.2017.

宗像市神湊: 30 exs., 21.IV.2017.

宗像市恋の浦海岸: 1 ex., 21.IV.2017.

(既産地) 行橋市稲童・沓尾, 岡垣町, 宗像市神湊 (高倉, 1974), 福津町恋の浦 (高倉, 1989), 福岡市東区三苦 (平野, 1990), 芦屋海岸, 岡垣町新松原海岸, 宗像市鐘崎, 新宮浜, 志賀島, 福岡市海の中道, 糸島市幣の浜・福吉海岸 (城戸, 2004), 白島 (西, 1959), 藍島 (城戸, 1999), 地島 (城戸, 1997), 大島 (城戸, 1997)

この調査では、水分を多く含んだ打ち上げられた海藻の中から多数得られた。海岸砂丘で最も普通に見られるエンマムシ。

5. ヒメハマベエンマムシ *Hypocacculus asticus* (Lewis, 1911)

糸島市志摩芥屋幣の浜: 1 ex., 16.V.2017.

宗像市神湊: 1 ex., 21.IV.2017.

(既産地) 岡垣町新松原海岸・波津海岸, 宗像市鐘崎・さつき松原, 地島, 新宮浜, 志賀島, 糸島市幣の浜 (城戸, 2004)

ハマヒルガオの根際やその下の砂の中に見られることが知られている。

6. ニセマグソコガネ *Aegialia nitida* Waterhouse, 1875

糸島市志摩芥屋福の浦海岸: 3 exs., 30.V.2017.

宗像市神湊: 1 ex., 9.VI.2017.

(既産地) 北九州市戸畑 (野村, 1943), 北九州市若松区沖 (城戸, 2004), 宗像市神湊 (高倉, 1974), 宗像市さつき松原 (城戸, 2004; 城戸・小田, 2008), 福津町恋の浦 (森本他, 2001; 城戸, 2004), 福津市勝浦 (城戸, 2004), 福岡市海の中道 (島村・藤本, 2001; 森本他, 2001), 糸島市志摩幣の浜, 二丈深江海岸 (城戸, 2004)

福岡県レッドデータブック2014絶滅危惧II類

7. ニセマルケシマグソコガネ *Psammodyus maruyamai* Ochi, Kawahara, Inagaki, 2011

糸島市志摩芥屋福の浦海岸: 1 ex., 30.V.2017.

(既産地) 北九州市若松区岩屋 (Ochi T., Kawahara M. & Inagaki M. 2011), 北九州市若松区沖 (城戸, 2004), 田川市夏吉 (高倉, 1955), 芦屋町芦屋海岸・岡垣町新松原・新宮町新宮浜・糸島市幣の浜 (城戸, 2004), 宗像市神湊 (森本他, 2001), 宗像市鐘崎・草崎半島 (城戸, 2017), 宗像市さつき松原 (城戸, 2004, 2017; 城戸・小田, 2008), 福岡市海の中道 (島村・藤本, 2001), 大刀洗町西原 (今坂, 2011)

上記既産地の記録には、*Psammodyus convexus* Waterhouse セマルケシマグソコガネとして記録されたものを含む。

福岡県レッドデータブック2014準絶滅危惧。

海岸砂丘のコウボウムギなどの根際や砂の中に見られる。

8. ヤマトケシマグソコガネ *Leiopsammodyus japonicus* (Harold, 1878)

宗像市恋の浦海岸: 1 ex., 21.IV.2017.

(既産地) 宗像市神湊 (高倉, 1979, 1985a; 城戸, 1982), 福岡市東区西戸崎 (福岡市, 2011*), 福岡市東区和白 (林・高倉, 1986), 糸島市志摩野北幸田浜 (城戸, 2004)

あまり多い種ではないが、夕方、沢山の個体が砂浜を飛び交うことがある。

9. スナサビキコリ *Meristhus niponensis* (Lewis, 1894)

糸島市志摩芥屋福の浦海岸：1 ex., 26.V.2017; 6 exs., 30.V.2017; 4exs., 15.VI.2017.

(既産地) 宗像市神湊 (高倉, 1974), 福岡市東区和白 (林・高倉, 1986), 能古島 (安陪, 1995), 北九州市若松区沖, 宗像市さつき松原, 糸島市幣の浜 (城戸, 2004)

海岸の砂丘上に見られる。産地は局地的。

10. アカオオハナコメツキ *Platynychus ferrugineus* (Lewis, 1894)

宗像市神湊：1 ex., 9.VI.2017.

(既産地) 福津市恋の浦 (城戸, 2002b; 大平・城戸, 2002), 岡垣町波津 (大平・城戸, 2002), 北九州市若松区岩屋海岸, 新宮浜, 糸島市幣の浜 (城戸, 2004), 宗像市さつき松原・草崎半島 (城戸・小田, 2008), 糸島市芥屋海岸 (城戸, 2009)

福岡県レッドデータブック2014絶滅危惧Ⅱ類

海岸の砂丘上で見られることもよくあるが、海岸より少し内陸の植物上で見られることが多い。生態はほとんど分かっていない。原記載以降、100年を経て福岡県で発見された種で、現在でも分布が確認されているのは福岡県だけである。タイプ産地は鹿児島県で、同時期に熊本県でも得られている。

11. アカアシコハナコメツキ *Paracardiophorus sequens sequens* (Candèze, 1873)

糸島市志摩桜井大口海岸：3 exs., 30.V.2017.

糸島市志摩野北野北海岸：5 exs., 15.VI.2017.

糸島市志摩芥屋福の浦海岸：1 ex., 26.V.2017; 6exs.,30.V.2017.

宗像市恋の浦海岸：3 exs., 21.IV.2017.

(既産地) 行橋市沓尾・稲童, 宗像市さつき松原・神湊 (高倉, 1974), 福津市恋の浦 (高倉, 1977), 福岡市東区三苦 (山本, 2009), 香春町金辺川, 赤村鶴今川, 築上町伝法寺 (高倉, 1989), 行橋市蓑島, 芦屋海岸, 新宮浜, 志賀島, 能古島, 糸島市幣の浜・深江海岸・福吉海岸 (城戸, 2004)

海岸砂丘のハマヒルガオ、ハマボウフウなどの根際を歩行しているものを見ることが多い。内陸部でも河川砂地で得られている。

12. クロキオビジョウカイモドキ *Intybia niponicus* (Lewis, 1895)

糸島市志摩桜井大口海岸：1 ex., 30.V.2017.

(既産地) 福岡市東区海の中道 (城戸, 1999), 行橋市蓑島海岸 (城戸, 2003)

福岡県レッドデータブック2014絶滅危惧Ⅱ類

13. ハマヒョウタンゴミムシダマシ *Idisia ornata* Pascoe, 1866

糸島市志摩桜井二見ヶ浦海岸：1 ex., 16.V.2017.

糸島市志摩桜井大口海岸：4 exs., 30.V.2017.

糸島市志摩芥屋福の浦海岸：1 ex., 26.V.2017; 2 exs., 30.V.2017; 3 exs., 15.VI.2017.

糸島市志摩芥屋幣の浜：1 ex., 11.V.2017; 1 ex., 16.V.2017.

宗像市恋の浦海岸：4 exs., 21.IV.2017.

(既産地) 岡垣町新松原海岸 (高倉, 1974, 城戸, 2004), 宗像市鐘崎 (城戸, 1981, 2004), 福岡市西戸崎 (福岡市, 2011), 行橋市長井海岸, 北九州市若松区岩屋海岸, 芦屋海岸, 福津市恋の浦, 新宮海岸, 福岡市三苦・海の中道, 糸島市志摩幣の浜・深江海岸・二丈姉子浜 (城戸, 2004), 福岡市今津 (山本, 2009), 立石山波止海岸 (城戸, 2002), 藍島 (城戸, 1999), 大島 (城戸, 1997), 能古島 (吉原他, 1997, 福岡市, 2011*), 姫島 (城戸, 1993)

この科の中では最も波打ち際に近いところに生息する種で、この調査でも打ち上げられた海藻の中から多数得られた。玄界灘、響灘に面する砂浜に多く見られる。

14. オオマルチビゴミムシダマシ *Caedius maderi maderi* Kaszab, 1942

糸島市志摩桜井二見ヶ浦海岸：9 exs., 11.V.2017.

(既産地) 行橋市杳尾・稲童(高倉, 1974), 宗像市鐘崎(城戸, 1981), 能古島(細石, 2001), 行橋市蓑島海岸, 宗像市鐘崎京泊(城戸, 2004)

マルチビゴミムシダマシと同じような場所にいるが少ない。目の粗い砂地に見られる。

15. オオマルスナゴミムシダマシ *Phelopatrum scaphoides* (Marseul, 1876)

糸島市志摩桜井大口海岸：1 ex., 30.V.2017.

糸島市志摩芥屋幣の浜：8 exs., 16.V.2017; 1 ex., 30.V.2017.

(既産地) 福津市恋の浦海岸(高倉, 1974, 1977), 宗像市神湊(高倉, 1974), 宗像市さつき松原・鐘崎(高倉, 1974), 福岡市雁ノ巣(林・高倉, 1986), 福岡市西戸崎(福岡市, 2011*), 行橋市長井海岸, 芦屋海岸, 宗像市鐘崎京泊, 福岡市三苦, 糸島市志摩幣の浜・深江海岸・二丈姉子浜(城戸, 2004), 志賀島(城戸, 2004), 姫島(城戸, 1993)

次種よりも自然状態の良い海岸砂丘に見られる。玄界灘、響灘に面する砂浜に多く見られる。

16. オオスナゴミムシダマシ *Gonocephalum pubens* (Marseul, 1876)

糸島市志摩野北野北海岸：2 exs., 30.V.2017.

糸島市志摩桜井大口海岸：1 ex., 30.V.2017.

糸島市志摩芥屋福の浦海岸：1 ex., 26.V.2017; 2 exs., 15.VI.2017.

(既産地) 行橋市杳尾・稲童(高倉, 1974), 宗像市神湊(高倉, 1974), 福津市恋の浦海岸(高倉, 1977), 岡垣町三里松原(高倉, 1985), 福岡市雁ノ巣(高倉, 1991), 福岡市西戸崎(福岡市, 2011*), 福岡市東区三苦(山本, 2009, 2012), 立石山波止海岸(城戸, 2002), 行橋市蓑島海岸・長井海岸, 北九州市若松区岩屋海岸, 芦屋海岸, 岡垣町波津海岸, 宗像市鐘崎京泊, 糸島市志摩幣の浜・深江海岸・二丈姉子浜(城戸, 2004), 藍島(城戸, 1999), 地島(城戸, 1998), 大島(城戸, 1995), 志賀島(城戸, 2004), 能古島(安部他, 1995, 吉原他, 1997, 細石, 2001, 福岡市, 2011*, 城戸, 2004, 山本, 2009, 2012), 玄界島(城戸, 1993), 姫島(城戸, 1993)

多少、漂着物やごみなどの多い海岸にも見られ、個体数も多い。

17. ヒメホソハマベゴミムシダマシ *Micropedinus pallidipennis* Lewis

糸島市志摩芥屋福の浦海岸：1 ex., 30.V.2017.

糸島市志摩芥屋幣の浜：5 exs., 11.V.2017; 21 exs., 16.V.2017; 2 exs., 26.V.2017; 2 exs., 15.VI.2017.

(既産地) 行橋市杳尾・稲童(高倉, 1974b), 岡垣町新松原海岸(高倉, 1974b, 城戸, 2004a), 宗像市玄海・神湊(高倉, 1985), 宗像市鐘崎(城戸, 1983b, 2004a), 行橋市蓑島海岸, 宗像市鐘崎京泊, 福岡市海の中道, 糸島市志摩幣の浜(城戸, 2004a), 藍島(城戸, 1999c), 志賀島(城戸, 2004a)

打ち上げられた海水を含んだ海藻中に多くみられた。

18. スナムグリヒョウタンゾウムシ *Scepticus tigrinus* (Roelofs, 1873)

糸島市志摩芥屋幣の浜：2 exs., 11.V.2017; 1 ex., 16.V.2017; 1 ex., 30.V.2017.

(既産地) 芦屋町狩尾岬, 岡垣町浜の根, 新宮海岸, 糸島市前原(中村, 1992), 北九州市若松区岩屋海岸・芦屋海岸・岡垣町新松原海岸・宗像市さつき松原・福津市勝浦・新宮海岸・福岡市海の中道・志賀島勝浦海岸・糸島市幣の浜(城戸, 2004)

福岡県レッドデータブック2014準絶滅危惧

福岡県は九州唯一の産地であり、分布の南限にあたる。海岸砂地では次種と混成する。

19. トビイロヒョウタンゾウムシ *Scepticus griseus* (Roelofs, 1873)

糸島市志摩野北野北海岸：8 exs., 30.V.2017.

糸島市志摩桜井大口海岸：4 exs., 30.V.2017.

糸島市志摩芥屋福の浦海岸：1 ex., 30.V.2017; 3 exs., 15.VI. 2017.

糸島市志摩芥屋幣の浜：1 ex., 3.V.2017; 1 ex., 11.V.2017.

宗像市神湊：1 ex., 9.VI.2017.

宗像市恋の浦海岸：1 ex., 21.IV.2017.

(既産地) 芦屋町, 岡垣町, 福岡市東区海の中道・箱崎・中央区平尾 (Morimoto et. 2015), 福岡市雁ノ巣 (林・高倉 1986), 行橋市沓尾, 津屋崎町恋の浦, 宗像市神湊・鐘ノ岬 (高倉, 1989), 行橋市葦島, 北九州市若松区岩屋海岸, 岡垣市新松原海岸, 宗像市鐘崎, 志賀島, 糸島市深江海岸・姉子浜 (城戸, 2004) 海岸砂地のハマヒルガオの根際などに多い。河口に沿ってかなり内陸部にも見られる。

※福岡市 (2011) …平成21年度 (梅雨・盛夏・秋期) 及び平成22年度 (初夏) に福岡市で採集された昆虫類

以下の種については内陸部でも見られる種であり、本来の生息場所というより偶然得られたものと考え。

1. アトモンミズギワゴミムシ *Bembidion niloticum batesi* Putzeys, 1875

糸島市志摩芥屋福の浦海岸：1 ex., 30.V.2017.

2. キベリヒラタガムシ *Enochrus (Methyrus) japonicus* (Sharp, 1873)

糸島市志摩芥屋幣の浜：1 ex., 26.V.2017.

3. アオバアリガタハネカクシ *Paederus fuscipes* (Curtis, 1826)

糸島市志摩野北野北海岸：1 ex., 15.VI.2017

4. ホソサビキコリ *Agrypnus fuliginosus* (Candèze, 1865)

糸島市志摩野北野北海岸：1 ex., 30.V.2017

5. ホンドコハナコメツキ *Paracardiophorus nakanei hondoensis* Ôhira, 1997

糸島市志摩芥屋福の浦海岸：4 exs., 30.V.2017

6. ウスキケシマキムシ *Corticaria japonica* Reitter, 1877

糸島市志摩桜井大口海岸：1 ex., 30.V.2017.

7. フタイロカミキリモドキ *Oedemera sexualis sexualis* Marseul, 1877

糸島市志摩芥屋幣の浜：1 ex., 16.V.2017.

8. ヨモギハムシ *Chrysolina aurichalcea* (Mannerheim, 1825)

糸島市志摩桜井大口海岸：1 ex., 30.V.2017.

謝辞

本研究報告にあたり、アバタウミベハネカクシ属の同定をいただいた伊藤建夫氏、本稿にご意見いただいた河上康子氏に厚く御礼申し上げます。

参考文献

今坂正一 (2011) 久留米市高良山とその周辺の甲虫1. KORASANA, (79): 31-48.
河上康子・林成多 (2007) 日本海沿岸の海岸性甲虫類の研究 (2) 島根半島, ホシザキグリーン財団研究報告, (10): 37-76
城戸克弥 (1999) 福岡市で採集した珍しい海浜性甲虫, 北九州

の昆虫, 46 (1): 50.

城戸克弥 (2002) *Platynychus ferrugineus* と呼ばれるコメツキムシの再発見. 月刊むし, (377): 46-47.

城戸克弥 (2004) 福岡県の海岸砂丘の甲虫類. KORASANA, 71: 7-14.

城戸克弥 (2016) 福岡県のゴミムシダマシ上科. KORASANA, (84): 85-154.

城戸克弥 (2017) 福岡県のヒラタムシ上科. KORASANA, (85): 41-126.

城戸克弥・小田正明 (2008) 福岡県宗像市で採集した甲虫類について. KORASANA, 76: 7-16, 1pl.

柴田泰利・丸山宗利・保科英人・岸本年郎・直海俊一郎・野村周平・Volker Puthz・島田孝・渡辺泰明・山本周平 (2013) 日本産ハネカクシ科総目録 (昆虫綱: 甲虫目), 九州大学総

- 合研究博物館研究報告, (11): 69~218.
- 多比良嘉晃・松本雅道 (2000) 静岡県における海岸性甲虫相. 環境システム研究, (7): 39~71.
- 高倉康男 (1974) 北部九州海岸の甲虫類. 北九州の昆虫, 20 (1): 10-12.
- 高倉康男 (1977) 宗像郡津屋崎恋の浦海岸付近の甲虫類. 生物福岡, 17: 13-17.
- 高倉康男 (1989) 福岡県の甲虫相. 葦書房, 1-521, 5pl.
- 高倉康男 (1991) 博多湾沿岸の甲虫類. 北九州の昆虫, 38 (1): 17-20.
- 中村剛之 (1992) スナムグリヒョウタンゾウムシ北部九州に産す. PULEX, 80: 12.
- 林宏・高倉康男 (1986) 博多湾東部沿岸地域の昆虫類. 北九州の昆虫, 33 (1): 3-1.
- 林成多 (2013) 鳥根県の海岸性甲虫. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (9): 1~98.
- 福岡市 (2011) ふくおかの環境, 232-253.
- 藤本博文 (1999) 能古島で採集された甲虫類. 新筑紫の昆虫, (6): 17-38.
- 松本雅道・多比良嘉晃・小林芽里 (1999) 遠州灘海岸における海浜性甲虫群集と海浜植生. 環境システム研究, (6): 41~50.
- 丸山宗利 (2004) 海に棲む昆虫たち. 昆虫と自然, 39 (12): 4~7.
- 丸山宗利 (2012) アリの巣をめぐる冒険. 東海大学出版部
- 森本桂・城戸克弥・松井英司・藤本博文・紙谷聡志 (2001) 「福岡県の希少野生生物」掲載の甲虫等昆虫の採集記録と出典. 北九州の昆虫, 48 (2): 77-94.
- 山本周平・丸山宗利 (2013) 日本産ヒゲブトハネカクシ属 *Aleochara* の種同定の手引き I 海浜性 *Emplenota* 亜属, さやばね (9): 1~5.
- 山本周平・丸山宗利 (2013) 日本産ヒゲブトハネカクシ属 *Aleochara* の種同定の手引き II 海浜性 *Triochara* 亜属, さやばね (10): 1~4.
- 山本周平 (2009) 福岡県福岡市における海岸で採集した甲虫類の記録. 二豊のむし, 47: 111-117.
- Yamamoto, S. & Maruyama, M. (2012) Revision of the Seashore-dwelling Subgenera *Emplenota* Casey and *Triochara* Bernhauer (Coleoptera: Staphylinidae: genus *Aleochara*) from Japan. *Zootaxa*, 3517: 1-52.
- Yamamoto, S. & Maruyama, M. (2013) Revision of the Subgenus *Coprochara* Mulsant & Rey of the Genus *Aleochara* Gravenhorst from Japan (Coleoptera: Staphylinidae: Aleocharinae). *Zootaxa*, 3641 (3): 201-222.

Received October 10, 2017; accepted December 1, 2017

Rove Beetles Collected in Genkai-nada Coast, Fukuoka Prefecture

Keiko KAWAHARA^{1),2)}, Katsuya KIDO²⁾, Munetoshi MARUYAMA^{2),3)}

¹⁾ Fukuoka Prefectural Sue High School: 72-3 Tabiishi, Sue-machi, Kasuya, 811-2221, Japan

²⁾ The Kyushu University Museum: 6-10-1 Hakozaki, Higashi-ku, Fukuoka, 812-8581, Japan

³⁾ Corresponding author: dendrolasius@gmail.com

Very few species of Staphylinidae (rove beetles) have been recorded from coastal areas, especially of high tidal zones, of Fukuoka Prefecture. We investigated a fauna of rove beetles inhabiting high tidal zones of Genkai-nada coast in April - September of 2017. As a result 13 species including 4 new record from Fukuoka Prefecture were confirmed. These beetles were mainly found under dead seaweeds with moistures.

Key Word: Coleoptera, Genkai-nada, high tidal zones, Staphylinidae